

つたえる地域 つながる地域

NPO「三本の木」と名農高「学福連携」

若い力で活性化を

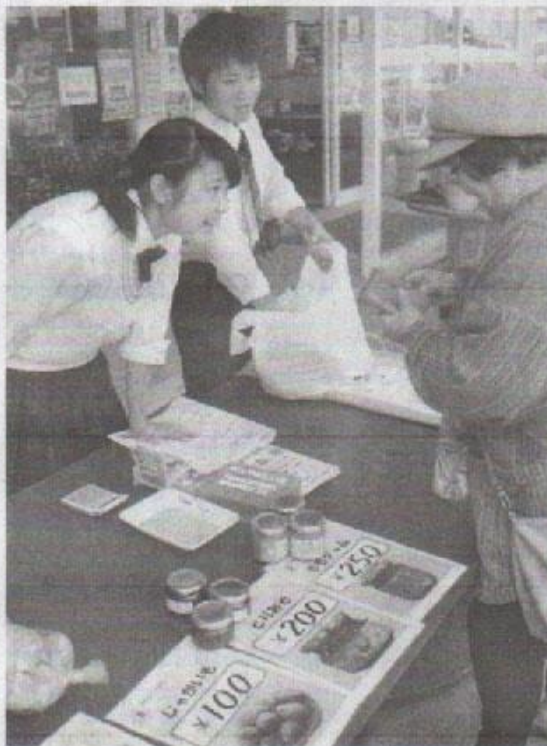
南部

障害者就労支援
に取り組む南部町
のNPO法人「三本の木」(林悦子理事
長)が、青森県立名久井農業高とタッグ
を組む「学福連携」で、運営する農産物

直売所の活性化を図っている。障害者を
雇用する同町斗賀の直売所「おやさいの
集会所」で、定期的に高校生がアンテナ
ショップを開設し、集客増につなげる試
みだ。
(岩淵修平)

高校生 障害者働く直売所に開設 ショップ

アンテナショップ 時半から約1時間開設 年生が、校内で栽培し
は、毎週木曜の午後3 され、生物生産科の2 た花や季節の農産物、



加工品を販売。直売所
で扱う地元農家の商品
もPRする。

集客増で障害者の就
労を支援したいNPO
と、高校生に地域おこ
しを経験させたい学校
側のニーズが一致し
た。6次産業化に向
け、校外での販売機会
を増やす狙いもあると
いう。

四木博之校長は「生
直売所で農産物や加工品
を販売する名久井農業高
の生徒

徒のキャリア教育の一
つ。住民や障害のある
方々と触れ合い、地域
への思いを育めたら」と
語る。来年以降も続
ける考えだ。

初回の17日は夕方の
「開店」とともに常連
客らがとっと訪れ、屋
外の特設ブースに並
んだ農産物はすぐに
完売。店内もいつも
以上ににぎわってい
た。

接客した坂上優人君
(こ)は「答えられない
質問があったので、次
までに品種の知識を増
やしたい」、細越真子
さん(こ)は「地域の人
といるんな話ができて
良かった。次はもっと
上手にコミュニケーション
を取りたい」と話
していた。

林理事長は「福祉と
学校が連携する新たな
取り組み。われわれに
も学校にも、お互いに
メリットがあると思
う」と効果を強調し
た。